

さわやかライフ

姫路赤十字病院 広報誌

SawayakaLife



Contents

- 診療科のご紹介：形成外科 …………… 02～03
- 感染予防対策について …………… 04
- 救護/訓練 …………… 05
- 今号の表紙：医療ソーシャルワーカー …………… 06
- リハビリテーションだより …………… 07
- 看護部だより うつらない・うつさないために …… 08
- 検査技術部だより ノロウイルスの感染予防 …… 08
- 薬剤部だより インフルエンザワクチン …………… 09
- 栄養課だより 冬を元気に乗り切るために …………… 09
- 看護学校だより 看護師への夢に向けて …………… 10
- 相の会 …………… 10
- 新棟建設のお知らせ …………… 11
- 12月1日～25日は「NHK海外たすけあい」キャンペーン …… 11
- 医療安全川柳 …………… 12
- 四季を撮る …………… 12

表紙写真：医療ソーシャルワーカー

医療安全推進週間の一環として
「医療」「安全」を題材に募集した川柳をご紹介します

医療安全川柳

一般の部

高度医療 心の中は 写らない
だじようぶ そのおもしこみ いのちとり
フルネーム 伝えたけども 他人の結果
乗りたくない 乗らねばならぬ 車椅子
落ちてまた 筋力体力記憶力 情けない
脳ドック 受けてみたいが 拒否反NO?
急いでも まずは問診 第一歩
フルネーム 聞かれて当然 誤認なし
満車にて 右へ左へ 元の場所
助け合う 地域連携で フェアプレイ

スタッフの部

そのミスは あなた一人の ミスじゃない
お母さん 柵さげたまま 行かないで
たぶんこれ・・・ 思い込みが 命取り
あぶないぞ カルテを見ずに 思い込み
健全な 自身であること 安全守る
こんには 声かけひとつで 笑顔咲く
深呼吸 冷静HeySayi 安全第一!
落ち着いて まずは一息 ついてみる
注意受け 立ち留まる時間 宝物
急変も 備えがあれば 怖くない
思い込み それが一番 いのちとり
クロックス わりとこけるよ 気をつけて!!

牛島 裕香
3663
8東新卒
西山 知里
総合相談支援課
あーちゃん
三木 鈴奈
藤迫 詩織
坂本 佳代子
チームB1
チームB1
あひる

四季を撮る

『もみじ寺』

集鳥山 清林寺(佐用郡佐用町)は740(天平12)年行基菩薩の開基と伝わる真言宗御室派の寺院で、1976(昭和51)年の台風により裏山が崩れ堂宇・境内が全壊。復興に併せ、モミジを植栽したという。今では200本以上の多種多様なモミジが境内を赤く染める様子から、「モミジ寺」と呼ばれ、西播磨の隠れた紅葉の名所として親しまれている。

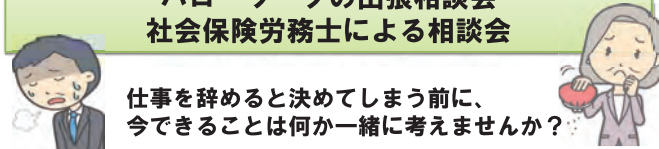
(2019年11月23日撮影:広報委員 西詰昌平)



お仕事に関する相談会のご案内

当院では次のような就労に関する相談会を実施しています。

ハローワークの出張相談会 社会保険労務士による相談会



仕事を辞めると決めてしまう前に、
今できることは何か一緒に考えませんか？

ハローワークの出張相談

・毎月第2火曜日
14:00～16:00
・完全予約制

社会保険労務士による相談会

・毎月第4金曜日
13:30～17:00
・完全予約制

お問い合わせはお電話または相談支援センター窓口へどうぞ。
電話 079-294-2251(代表) 079-299-0037(直通)

フェイスブック facebook しています!

みなさん、知っていますか? 当院ではFacebookで、日々の院内外の活動を発信しています。Facebookのページは登録していなくても、誰でも見ることができるので、携帯やパソコンから一度ご覧ください。記事が良かったらぜひ「いいね!」して下さいね。



<https://www.facebook.com/himeji.jrc>

診療科のご紹介

形成外科
形成外科診療の
ほぼすべての領域を
幅広く扱っています

形成外科

たかた はるゆき
高田 温行 (左)
形成外科部長

さいしよ ひろし
最所 裕司 (中央)
感染管理室長
(兼)DPCコーディング管理室長
医師

さくどう よしゆき
作道 善行 (右)
専攻医



姫路赤十字病院を受診される皆様へ / かかりつけ医をもちましょう

かかりつけ医とは、日常的な健康管理や風邪をひいた時、あるいは体調などに不安を感じた時、慢性期の継続的な治療が必要な時にかかる診療所や医院の医師のことです。入院や専門的な治療が必要な時には、かかりつけ医からのFAX紹介で大きな病院にかかりましょう。



姫路赤十字病院は、「地域医療支援病院」です。

地域医療支援病院とは？

紹介患者中心の医療を提供し、病状が安定した患者さんはかかりつけ医へ逆紹介し、切れ目のない医療の提供を行います。また、救急医療・地域医療の中核を担う体制を整えた病院が「地域医療支援病院」として各都道府県知事より承認を受けております。



正面玄関入って左手に「かかりつけ医の紹介」ブースを設けています。姫路市内の医療機関については、姫路市医師会のホームページから検索して印刷できるようパソコン

を設置しています。

姫路市以外の医療機関については、リーフレットを置いてありますので自由にお取りください。また、「かかりつけ医」のご相談にも応じています。

姫路赤十字病院 地域医療連携室

TEL:079-294-2251 (代)

形成外科はけが、きず、きずあと、皮膚の腫瘍やあざ、先天性、後天性の体表異常を扱う診療科です。そのほかにも他の診療科と合同で、腫瘍切除後の組織欠損の再建を担当しています。乳房再建、頭頸部再建など、インプラント挿入や皮弁移植、顕微鏡を用いた遊離組織移植を行っています。また、巻き爪、眼瞼下垂、臍ヘルニアなど、形成外科診療のほぼすべての領域を幅広く扱っています。

現在は専門医2名、専攻医1名の3人体制で

診療しています。できるかぎり患者様にわかりやすく説明し、治療に対するイメージを共有でき、納得のいく治療を受けていただけるよう心掛けた診療を行っています。特に顔にできた腫瘍の場合、術後の変形が気になると思います。できるかぎり術後の変形、きずあとが目立たない切開、再建を考え、提案させていただきます。お気軽にご相談いただければと思います。

＜加齢による眼瞼下垂＞

加齢とともに次第にまぶたが下がってくる状態です。だんだん上まぶたの皮膚がたるんできて、まぶたの線を越えて目にかぶさってしまう状態や、まぶたを開ける筋肉とまぶたの組織の結合が緩んできて、まぶたが垂れ下がる状態があります。目が開きにくいといった症状のほかには頭痛や肩こりの原因になっている場合もあります。治療は余った皮膚の切除や筋肉のたるみを修正する手術を行います。両目の場合は術後の腫れ、出血の心配もあるため短期入院がお勧めです。





感染予防対策について

咳エチケットをお願いします

風邪や季節性インフルエンザ対策と同様におひとりおひとりの咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。風邪症状があれば、外出を控えていただき、やむを得ず、外出される場合にはマスクを着用していただくよう、お願いします。


感染リスクが高まる「5つの場面」

新型コロナウイルス感染症対策分科会より、『**感染リスクが高まる「5つの場面」**』の提言がありました。この5つの感染リスクが高まる場面が、みなさまの生活の中に潜んでいないか、ぜひご覧になってください。

感染リスクが高まる「5つの場面」


場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。




場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。




場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。




場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まる可能性がある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



兵庫県のインフルエンザ流行期に備えた体制整備

兵庫県は、季節性インフルエンザとの同時流行に備え、地域の実情に応じてより多くの医療機関で診察・検査できるよう、「発熱等診療・検査医療機関」を774カ所確保しています。

発熱の症状があれば、まずは、かかりつけ医など地域の身近な医療機関に電話相談し、指示に従って受診しましょう。かかりつけ医などがいない時は「発熱等受診・相談センター（保健所）」や、「新型コロナ健康相談コールセンター（全県）」に相談してください。

	相談対応時間	電話番号
新型コロナ健康相談コールセンター	24時間受付（土日祝日含む）	078-362-9980
姫路市保健所	平日 9時00分～19時00分 土日祝 9時00分～17時00分	079-289-0055

上記以外の保健所・健康福祉事務所管轄の在住の方は、区市町のホームページにてご確認ください。
(令和2年12月時点)



救護 / 訓練

あらゆる災害に備えて「赤十字救護員研修」を実施

災害救護活動は赤十字に課せられた重要な職務であり、災害発生初期から地域医療回復期までの間、被災地域医療を代行して行う役割を担います。

そのため、災害現場に派遣された場合に、救護班員として必要な知識と技術が必要となる為、救護班員に任命された場合は、「救護員としての基礎・実践研修」と「救護員主事研修」を実施しています。

今年も、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大に伴い、例年5月に実施していた研修を9月24日及び10月3日に延期し、感染予防の対策を十分に行いながら開催いたしました。

この研修は、兵庫県内の各赤十字施設（日本赤十字社兵庫県支部、各赤十字病院、兵庫県赤十字血液センター、

姫路赤十字看護専門学校）から職種ごとに代表者を決め「赤十字救護員指導者等協議会」が研修を主催し、各施設の職員が講師となって、災害派遣時に必要となる項目を学ぶものです。

災害の現場では、情報の伝達、安全対策、災害医療現場の救護、避難所の状況調査など、活動が多岐にわたることから、それぞれを正しく身に付ける事で迅速かつ丁寧な災害救護が展開できます。

7月には、既に「災害時のこころのケア研修」も実施し、赤十字救護要員のスキルアップも図っています。

相次ぐ自然災害等に備え、姫路赤十字病院職員も一丸となって救護活動に取り組んでいます。

社会課 社会課長 大西 勝彦

写真 9/30 事務系職員、コメディカル職員を対象とした「主事研修」の様子



情報の記入、整理の仕方について



衛星電話通信の仕方について

写真 10/3 救護要員全員を対象とした研修の様子



避難所等の情報収集法など



災害時の患者の取り扱い方法



災害カルテの入力方法



医療ソーシャルワーカーの「さわやかさん」たち 丁寧に話を伺います



地域医療連携課には、現在、6名の医療ソーシャルワーカー(MSW)と看護師4名、事務員6名が勤務しています。MSWは患者さんやご家族の方の療養生活上の問題や不安の相談に応じ、解決を支援する職種です。例えば、「急な病気やケガで治療が必要になり、お金のことが心配」、「介護が必要な状態で、家で生活するのに不安」、「リハビリ病院へ転院が必要だが、どこの病院にしたらいいかわからない」、「子どもに医療的処置が必要になった」…等々です。

私たちMSWが、患者さんやご家族のお話を丁寧に伺い、これからどうしていくのかを一緒に考えます。介護保険等の社会保障制度や地域の病院機能のことなど、患者さん・ご家族には分かりにくいことも多く、MSWが内容をわかりやすくご説明し、必要な手続きをお手伝いしたりします。MSWは医師や看護師等と協働し、チームで患者さん・ご家族を支援しています。また、地域の医療・保健・福祉の関連機関等と積極的に連携を図っています。

地域住民の皆さまが、必要な治療を受け、安心して療養生活が営めるよう努めていきたいと思ひます。

地域医療連携課 医療社会福祉係長 河南 孝子

医療ソーシャルワーカー(MSW)のおしごと

医療ソーシャルワーカー(MSW)はこんなお仕事をされています。

【面談】

患者さんやご家族との面談の際は、安心してお話して頂けるよう、原則、面談室やパーティションで仕切った場所を使い、プライバシーに配慮しています。



【カンファレンス】

連携している地域の医療機関とは、文書や電話連絡での情報提供だけでなく、定期的カンファレンスを行っています。関連機関の方々と顔の見える関係づくりをしながら、患者さんの支援に活かしていけるよう努めています。



リハビリテーションだより

筋力トレーニング編

加齢性筋肉減少症(サルコペニア)について(10)

サルコペニアの治療には、筋力トレーニングや有酸素運動などの運動療法が有効であり、筋力トレーニングをすることで、加齢性筋肉減少症(サルコペニア)を予防・改善することができます。今回は、ふとももの内側の筋肉(内転筋)の筋力トレーニング方法についてご紹介します。

サルコペニアの影響

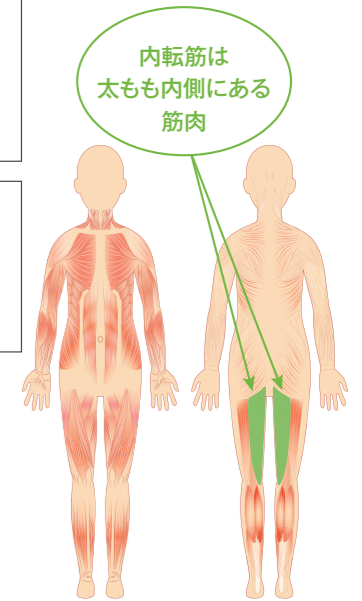
- 日常生活動作や生活の質が低下する
- 転倒や骨折のリスクが増加する
- 肥満や糖尿病になりやすい
- 肺炎などの感染症のリスクが増加する
- 死亡率が増加する

筋力トレーニング効果

- サルコペニア(骨格筋量)の改善
- 筋力増強
- 日常生活動作や生活の質の改善
- 体脂肪の減少
- 生活習慣病の改善と予防
- 腰痛や膝関節痛の改善



- 呼吸を止めない
- 反動をつけずにゆっくり(3秒で上げて、3秒で下ろす)行う
- 左右5~20回を2~3セット行う
- 2日に1回または週3回行う
- 運動中に痛みが起らない範囲で行う



ふとももの内側の筋肉(内転筋)の筋力トレーニング

1 床またはベッドでする方法

- ① 横向きに寝ころび、上の足を前にクロスする。
- ② 下側の足を持ち上げて下ろす。(反動をつけないように)



2 椅子に座ってする方法

- ① 椅子に座り小さめのボールを太ももの間に挟む。
- ② ボールを太ももの内側で強く挟み、6~10秒キープする。
- ③ ゆっくりと力を緩める。



3 立ってする方法

- ① 両足を肩幅より広めに、つま先は外側を向ける。
- ② 直立姿勢でゆっくりと腰を下げる。この時、膝が内に入らないように気をつけましょう。
- ③ 股関節の内側を意識しながら体を持ち上げる。



*自分の体力にあった姿勢でしましょう。
*関節疾患、骨粗鬆症、運動麻痺、心疾患、手術後、その他体調不良で通院中の方は、医師に相談し、許可があれば実施してください。
*痛みや体調不良を感じた場合は直ちに中止し、医師にご相談してください。

看護部だより

うつらない・うつさないために

感染防止対策にご協力ください

看護部長 駒田 香苗

待望の東京オリンピックで盛り上がるはずだった2020年は、新型コロナウイルスの感染拡大による不安と社会生活や日常生活が一変するという歴史に残る年となりました。当院では、院内感染予防対策に職員一丸となって取り組んでおります。特に私たち看護職は、患者さんと接する機会が最も長い医療従事者ですが、「うつらない・うつさない」よう日々努力しております。

感染防止対策として、医療従事者だけでなく患者さんやご家族にもご協力をお願いしております。外来受診をされる患者さんには、マスクの着用・手指消毒・体温測定や問診などにご協力をいただき、入院されている患者さんにもマスクの着用とご家族の面会を原則禁止させていただいております。特に入院患者さんにはご家族の面会が禁止となり不自由をおかけしますが、これらの行動が「命を守る」事につながります。

これからの冬の季節は、空気が乾燥し感染が更に拡大しやすいと言われています。今後とも私たち医療従事者と共に、感染防止対策にご協力くださいますようお願いいたします。



外来入口でマスク着用をお願い・体温測定・看護師による問診を実施しています

検査技術部だより

ノロウイルスの感染予防

冬の食中毒について

検査技術部 技師長 山本 繁秀

食中毒の発生は夏季のイメージですが、実は冬季の方が多く、夏季は細菌性、冬はウイルス性の食中毒が多く発生しています。ウイルス性食中毒の原因の多くがノロウイルスで、年間の食中毒患者の原因別患者数の一位となっています。ノロウイルスは、二枚貝の非加熱や不十分な加熱による原因が知られていますが、これはノロウイルスの食中毒の原因の10%～20%にすぎません。その理由はノロウイルスの特徴と多彩な感染経路にあります。



- ノロウイルスの大規模な集団感染を起こす特徴
- 感染力が強い(10個～100個程度のウイルス量で感染が成り立つ)
- 環境中で感染性を長期間維持し、不活化されにくい
- 糞便や嘔吐物の中に大量にウイルス粒子が排泄される

- 回復した(症状が消えた)後も長期間ウイルスの排泄が続く
- 不顕性感染(症状の出ない感染)も多く、糞便中にウイルス粒子を排出する

ノロウイルスの多彩な感染経路

- 感染した人の調理などによる汚染した食品の摂取(手洗い・手指衛生・消毒)
- ウイルスの蓄積した、加熱不十分な二枚貝などの摂取(加熱)
- 患者の糞便や嘔吐物の付着による二次感染(手洗い・手袋)
- 家庭や施設内などで飛沫などによる二次感染(マスク)

これらのことからノロウイルスの感染は、汚染された食品の摂取による食中毒と二次感染が原因です。ノロウイルスの感染予防には、**持ち込まない・広げない・加熱する・つけない**ことが大切です。



SAWAYAKA DAYORI

各部・各課のスタッフから健康や医療の情報について紹介します。

DAYORI

薬剤部だより

インフルエンザワクチン

みなさん接種はもうお済みですか？

薬剤部 病棟業務第一係長 樋本 真紀

今年の冬は、新型コロナウイルスとインフルエンザが同時に流行る事が想定されています。重複して感染する事もあると分っているので、発症予防や重症化を防ぐため、予防効果のあるワクチン接種が望まれます。

インフルエンザワクチンは、接種してから効果が現れるまで通常2週間程度かかり、約5ヶ月間持続するとされています。日本では例年12～4月に流行し、1月末～3月上旬に流行のピークを迎えるので、12月中旬までに接種を完了する事が望ましいとされます。接種回数は、13歳以上は1回、13歳未満は2回が原則です。

インフルエンザワクチンは、不活化ワクチンなので、接種によって発症する事はありません。心配となる副作用は、局所性では発赤・腫れ・痛み、全身性では発熱・頭痛・悪寒・倦怠感などがみられますが、いずれも2～3日で消失します。ま

た、鶏卵成分が含まれているので、重篤な卵アレルギーのある方は接種出来ません。接種時の注意点として、ワクチンを安全に投与するため、手術や抗がん剤治療中の方、また免疫が低下する薬剤を投与中の方は、いつ投与を行うのが良いのか主治医にお尋ねください。

65歳以上の方や、基礎疾患を有する方、免疫力の低下している方では、二次性の肺炎や重症化のリスクが高いため、ご自身や大切な家族を守るために、今出来る対策として、有効な防御手段であるインフルエンザワクチンの接種を是非ともお勧めします。



栄養課だより

冬を元気に乗り切るために

朝食を食べよう

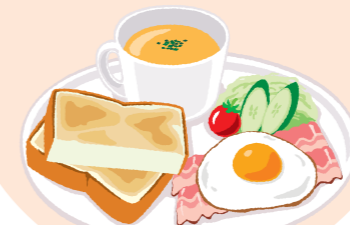
栄養課 管理栄養士 石原 梨絵子

今年も残すところ少なくなり、寒さが一入身に染みる今日この頃、「布団から出たくない・・・」と思う事も多くなってきたのではないのでしょうか。そんな辛い冬の朝を元気に乗り切るためにも、しっかりと朝食を食べましょう！

朝食を食べることで

- ①体内時計の「時刻合わせ」ができる

体内には朝陽でリセットされる視交叉上核の主時計遺伝子^(※1)と朝食でリセットされる内臓の末梢時計遺伝子^(※2)があります。朝食を食べないと末梢時計遺伝子がリセットされず、脳の親時計とずれてしまい、肥満や糖尿病、鬱病等の疾患にかかりやすくなるという研究結果が増えています。



- ②体表温度が高くなる
身体の代謝が活性化し、体表温度が上がります。
 - ③精神状態の安定や集中力が向上する
ブドウ糖を補給することにより脳のエネルギー不足を解消します。
 - ④肥満の予防になる
朝食の欠食は生体の防衛反応を引き起こし、エネルギーを節約して脂肪の合成を促進するよう働きます。
- 上記以外にも様々な利点があります。明日の朝はいつものトーストに+チーズ・トマトでピザ風トマトチーズトーストなんていかがでしょうか。
- ※1 視交叉上核とは脳の視床下部にある領域で、哺乳類の概日リズムを統率する時計中枢としての役割を担っている。
- ※2 肝臓や心臓、血管など全身に備えられている時計を末梢時計遺伝子とよぶ

看護学校だより

看護師への夢に向けて

戴帽式

看護専門学校 専任教師 小野 真弓

10月27日(火)、姫路赤十字看護専門学校第122回生45名の戴帽式が行われました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、戴帽生がマスクを着用しての式の開催となりました。

看護師の象徴である真っ白な真新しいナースキャップを坂本副学校長職務代理から戴き、駒田看護部長から燭台のろうそくに灯をともしていただきました。姫路赤十字

看護専門学校同窓会よりいただいたカーネーションのコサージュを胸に、凛とした姿で、看護学生としての自覚と責任、看護師になる決意を新たにしました。ナイチンゲール誓詞を代表が唱え、看護職としての責務を再確認しました。戴帽生代表の宣誓では、新型コロナウイルス感染症流行下において実習を受け入れて下さっている病院や地域施設への感謝の意を述べると共に「相手を思いやる豊かな心を養い、患者さんの痛みや苦しみに寄り添える看護師を目指します」と誓いました。

戴帽を迎えたこの日の感動と感謝の気持ちを忘れず、クラスの仲間たちと力を合わせ、看護師への夢に向けて歩んでくれることを願います。



新棟建設のお知らせ

News of hospital

ただいま新棟を建設中です。

来院者の方のアメニティ充実と診療機能の強化を目的に、正面玄関西側に新棟を令和2年5月より建設しています。今回の新棟工事は、病院敷地内北西側、癒しの庭スペースに3階建の新棟を増築し、1Fに放射線部門、2Fに来院者レストラン等、3Fに多目的ホール・患者サロン等を配置予定です。

工期は令和3年5月末頃、オープンは6月頃を予定しています。工事期間中は、敷地内通行等において色々ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解・ご協力の程をよろしくお願い致します。

建築担当室



相の会

AINOKAI

相の会は、すべてのがん患者さんと家族が対象の患者会です。

「相の会」のはじまり

「がんを生き抜くためには、同じ体験をした人との交流が必要。同じ悩みを持つ仲間と集まり、わきあいあい(相相)と過ごし、気持ちを楽にしながらと共感する力を持ちましょう!と訴えかけた婦人科の患者さんの思いがはじまりです。

現在の「相の会」

平成15年に発足し、当初は婦人科の患者さんのみが対象でしたが、他科の女性患者さん、男性患者さんと少しずつ対象を拡大し、現在は当院への受診の有無に関係なく「すべてのがん患者さんとその家族」を対象としています。

新型コロナウイルスとがんサロン

現在、新型コロナウイルスの影響で長期にわたり生活の変化が求められています。ご自身のがんや、治療に対する不安に加えて、感染に対する不安が重なることで、「私は大丈夫」と思っても心理的負担をすでに抱えている場合もあります。こんな時こそ「相の会」で、気持ちを語り合い、生きていることをたえあえる仲間とつながることが心の支えになるのですが、2020年10月末現在、安全性を考えて、『相の会』は休会としています。

『相の会』が開催できる日まで、以下のようなことを心にとめて頂けると嬉しいです。

- ・電話やメールなどで身近な人と話したりして、できる限り連絡を取り合うようにしましょう。
- ・適度な運動やバランスのよい食事と睡眠、禁煙、節度のある飲酒を心がけて規則正しい生活を送りましょう。
- ・読書や料理など趣味を楽しんで気分転換をしましょう。
- ・テレビやインターネットなどの情報を見過ぎないようにしましょう。
- ・心配や不安が強いときには医療従事者やがん相談支援センターに相談してみましょう。

これは、がん関連3学会(日本癌学会、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会)合同連携委員会の新型コロナウイルス対策ワーキンググループが、患者さん向けに情報を発信されたQ & Aの中の「生活全般について」に記載されているものです。

当院の『相の会』の世話人さんからは「次に会えるその日のために毎日を大切に過ごしていきましょう。」というメッセージを頂きました。患者さんも、ご家族も、医療従事者も、こんな時こそ毎日を丁寧に、大切に、過ごしたいですね。

医療推進室 がん診療連携課長 井上 豊子

「相の会」についてのご相談、ご質問等は総合相談支援課(079-294-2251)または相談支援センターで受け付けています。お気軽にどうぞ。

12月1日~25日は「NHK海外たすけあい」キャンペーン



助けあわなければ、感染症から世界は守れない。

12月1日~25日は「NHK海外たすけあい」キャンペーン

日本赤十字社は毎年12月1日~25日に、NHKと共催で募金キャンペーン「NHK海外たすけあい」を実施しています。お寄せいただいた寄付は、世界中の紛争、災害、病気で苦しむ人々の支援に役立てられます。

寄付するあなたも赤十字です
http://campaign.jrc.or.jp/kaigai/

日赤 海外たすけあい

